

公園等再整備方針・再整備計画の策定におけるプレサウンディング
調査の結果について

【調査の概要】

- ・日 時：令和7年6月30日(月) 午前9時30分から午後5時まで
- ・場 所：東大和市役所3階 301会議室
- ・調査対象：東大和市立狭山緑地及び市内公園等
- ・事業者：公園等における公民連携の実績がある事業者5者を委託事業者により選定
- ・実施方法：対面でのヒアリング ※1事業者1時間程度

主な項目	事業者からの主な意見
狭山緑地及び その他公園等 の民間活力の 導入について	<ul style="list-style-type: none"> ・狭山緑地は「本当の自然」を感じられるため、民間事業者が管理運用することに大きなポテンシャルを感じる。 ・狭山緑地は自然環境をテーマにPRすることができ、非日常の体験を提供できる場として魅力的である。 ・狭山緑地周辺は、様々なポテンシャルのある公園が集まっているため、相互が連携すればエリア全体の魅力向上に繋がる可能性がある。 ・狭山緑地周辺の管理運営の拠点となる場所（建物）が必要であるため、郷土博物館を活用できる可能性がある。 ・狭山緑地への交通アクセスは特に悪くないが、市外からの来園者等のため、駐車場の増設などの検討が必要である。
狭山緑地フイ ールドアスレ チック改修事 業について	<ul style="list-style-type: none"> ・都内最長を目指したローラースライダーを整備することは、市としてアピールに繋がると考えられるが、ランニングコストとなる管理運営費や安全面の確保に係る経費を考慮すると、ローラースライダーを含めた改修事業について、一旦立ち止まって見直したことは正解だと考える。 ・ローラースライダーの是非ではなく、「子どもたちは何がしたいのか」が重要ではないか。例えば、狭山緑地の豊かな自然環境を活かすのであれば、フォレストアドベンチャーなども考えられる。 ・狭山緑地は近隣にあるブルーナドームや西武遊園地と違い、何か目的がないと訪れない立地条件である。遊具等を整備するのではなく、例えば、臨機応変に様々なイベントができる場とするなど、インパクトがある可変的な内容を入れ込んだ方が良いと考える。